栃木県眼科医会理事会だより(平成22年度第4回)

日 時：平成22年11月17日(水) 午後7時より

場 所：宇都宮市医師会館

出席：宮下会長、原(裕)、旭副会長、木村、大久保(彰)、大野、吉沢(徹)、城山、苗加、
福島、落合(憲)、上田、大沼、井岡、斉藤(春)、高橋、斉藤(哲)、堤理事、松島
(雄)監事、斉藤(武)顧問 計20名

欠席：小幡、牧野、松島(博)理事、鈴木(隆)監事、早津、稲葉(光)、田口、柏瀬、茨木、
佐藤、妹尾顧問 計11名

[会長挨拶]

皆さんお忙しい所ありがとうございます。今年最後の理事会になります。今回も、来年度の担当理事変更の問題や、日眼医連盟協議委員会出席報告など、議題がたくさんございますので、よろしく願います。

[総務]

報告：1. 会員の異動

自宅住所変更 B 小幡博人(自治医大)

転出 B 太田博仁(足利赤十字病院) 群馬県へ

勤務先の変更 B 竹澤美貴子(自治医大) 那須塩原市

伊野田眼科クリニックへ

協議：1. 入会希望者について(転入、開業を含む)

B 佐藤 彩(自治医大) 東京都より

2. 栃眼医理事担当変更の件

来年度は理事担当変更の時期になるため、今後の人事変更に備え、会員宛に役員を受けてくれるか、アンケートを送る予定、またそれらを元に来年早々に総務部会を開催し、検討したい。出来るだけ女性理事も採用して行く予定。

3. 総務部会開催の件

来年1月の理事会後に開催する事とする。今後、現理事と次期理事候補に対し、理事会活動に対するアンケートを送付し、次期理事会員について検討していく予定。

[経理]

報告：1. 目の愛護デー記念行事収支報告

収入：栃木県アイバンクより 20,000円

支出：講師御礼 50,000円、講師交通費 15,000円 昼食代 28,000円、駐車場代 19,500円 栃木放送 60,000円、いずみ工芸 8,400円 振り込み手数料 315円。合計 181,215円

2. 第60回栃木県眼科集談会収支報告

収入：会費 78,000円

支出：講師御礼 100,000円 会場費 6,500円、合計 106,500円

差額の28,500円を一般会計から補助

3. 平成23年度会費免除対象者について

田島幸男 中静隆両先生が該当するが、どちらもまだ現役であるから、との理由で申請なさない、との事。

4. ホームページの利用料変更について

眼科医会会報をPDFで掲載するにあたり、容量アップが必要になったため、利用料が1,050円/月に変更になった。現在32号から43号(最新号)まで掲載されているので、ご利用いただきたい。

[学術]

報告：1. 第18回栃木眼科セミナー開催報告（自治医大、興和創薬共催、当会后援、10月1日(金)宇都宮グランドホテル)

ミニレクチャー：「緑内障患者の自動車運転能力について」 青木由紀先生（自治医大眼科）

特別講演：「見せませす！ “白内障手術”」 太田一郎先生（眼科三宅病院）

65名が出席、盛会のうちに終了。

2. 第60回栃木県眼科医会集談会開催報告（10月15日(金)宇都宮医師会館）

特別講演：「知っておきたい眼瞼の腫瘍と腫瘍性疾患」小幡博人先生(自治医大眼科)

78名が出席、盛会のうちに終了。

3. 日眼医より送付の第61回生涯教育講座「眼科診療とガイドライン」ポスターの件

本部より事務局宛に送付された。

東京講座よみうりホール平成23年2月19日(土)・20日(日)

神戸講座西山記念会館平成23年2月26日(土)・27日(日)

福岡講座アクロス福岡平成23年3月12日(土)・13日(日)

名古屋講座テレビアホール(東海テレビ内)平成23年4月16日(土)・17日(日)

- 協議：1. 第44回栃木県眼科医会研究会の件(キッセイ薬品と共催、1月14日(金)宇都宮グランドホテル)
- 講師として岩淵博史先生(国立栃木病院口腔外科)にドライアイとドライマウスについて、松原正男先生(東京女子医大)に角膜関連の話を依頼する予定。
2. 栃木県医師会より依頼の「第51回栃木県総合医学会開催に関する調査」について旭副会長からの提案で、感染症関連における患者への啓蒙の仕方についてのディスカッションを希望し要望を提出する予定。その他演題提出は未定。
3. 第21回下野眼科談話会の件
- 平成23年3月18日(金)小山グランドホテルで開催予定。特別講演として加治優一先生(国立筑波大学)に角膜関連の話を依頼する予定。
4. 第61回栃木県眼科集談会の件
- 平成23年4月10日～17日に予定。演題は未定。

[医療安全対策及び福祉]

- 報告：1. 平成21年度医事紛争調査の回答の件
- 斎藤(春)理事が回答。本年度は件数ゼロであった。
2. 第73回栃眼医ゴルフコンペの件(11月23日(火)宇都宮カンツリークラブ)
- 落合理事が回答。午前9時36分開始、現在約10人前後が参加予定。
3. 平成23年度眼科コメディカル講習会について
- 斎藤(春)理事が回答。平成23年1月23日から帝京大学医学部臨床大講堂2Fで開催される。会員宛に申込書他を送付済。

- 協議：1. 栃眼医忘年会開催の件(12月3日(金))
- ホテルニューイタヤで午後7時から開催予定。
- 会費：A 10,000円、B 5,000円、C 2,000円

[保険]

- 報告：1. 健保研究会開催報告(10月15日(金)宇都宮市医師会館)
- 栃眼医集談会終了後に開催された。会員からの質問は特になく、阿久津、旭、城山、鈴木、各審査委員が審査状況を報告した。全体的に審査自体が

厳しくなってきており、電子レセプトのため事務的に切られてしまう事があるので、単純な病名もれなど、記載に際して注意されたい。総合病院でのレセプトは、他科と一緒に審査される事があるため、メチコバルについては、査定される動きがあった。今は眼科の審査委員がそれを通しての状況だが、今後もそれで続くかどうかは不明。この問題については来年の審査委員連絡会などでも協議してゆきたい。

2 . 平成22年度日眼医各支部健保担当理事連絡協議会議出席報告（10月31日（日）東京グランドホテル）

井岡理事が出席。昨年は政治家の出席がなかったが、今年は来賓として衆議院の吉田総彦議員が出席した。高野会長の挨拶として、昨年の眼科に対する実態調査があまりにもずさんなため今後診療報酬改定でも不利になる可能性があるため、正しい情報を各方面に発信してゆきたい。また、眼鏡士問題などについても、眼科医療に関連した国会議員の連盟を作りたい、との事、前大臣の中井治議員を代表とし、吉田総彦議員を事務長とする予定である、との事。

3 . 平成22年度第2回栃木県社保国保審査委員連絡協議会開催の件（11月22日（月）宇都宮医師会館）

阿久津、鈴木国保審査委員、旭、城山、千葉社保審査委員、井岡、吉澤健保担当理事の計7名が出席し、最近の審査状況について検討する予定。

4 . 日眼医より「平成22年度 各支部健保担当理事連絡会各支部提出議題」に対する最終本部見解の送付（11/8（月））

内容の詳細については例年通り日本の眼科「日本の眼科」82巻1号に掲載予定。

協議：1 . 真岡市役所からの「生活保護を受けている患者に対する指導」について

宇都宮市の眼科に通院中の患者が、市の生活保護の係員から、市内の病院にかかるよう指導された、との事。前置きとしてどこにかかろうと自由であるが、と言われたらしいが、過ぎた指導は患者自身のフリーアクセスの侵害になるので、一定の配慮が必要であろう。今後栃木県から真岡市に連絡する予定。

2 . 電子レセプトについて

審査委員より、電子レセプトを対象に今年2月から開始された電子レセプトへのコンピュータチェックにより、禁忌薬剤が自動的にチェックされて戻ってくる。例えば緑内障に対して抗コリン剤などが全てチェックされるので直す手間が大変である、との事。今後ソフトの修正を申し入れたい。

[学校保健]

報告：1. 日眼医より依頼の眼科学校健診に関する全国調査について

学校保健部より、日眼医 A 会員の10%を任意に抽出して眼科学校健診に関するアンケートを行う事となった。既に届いているかと思うが、ご協力をお願いしたい。

以前の調査での眼科学校医の設置状況は、栃木県では小学校で80%、中学校で70%、高校で100%であった。

2. 栃木県医師会第3回学校保健部会理事会開催報告（10月14日(木)ニューイタヤ）
苗加理事が出席。例年通り来年度予算に対する要望について討議した。学校医の報酬アップと、眼科については、学校ごとの眼科学校医の設置を要望した。

[公衆衛生]

報告：1. 「目の愛護デー」記念行事開催報告（10月2日(土) 宇都宮市健康センター(ララスクエアビル9階)）

福島理事が報告。講演会には137名、目の健康相談には70名、無料眼圧測定には89名の参加者があった。盛会のうちに終了したが、今回は新聞への投稿と講演の内容がどちらも緑内障であったため、関連性があるかわかりやすかったのではないかとと思われる。

2. JRPSとちぎから送付の御礼の手紙の件

平成22年9月19日(日)に行われた清水由花先生(伊野田眼科)の地方講演に対し、JRPSの平塚支部長から御礼の手紙をいただいた。来年6月の講演会は岩手医大の町田繁樹先生にお願いする予定なので、9月か10月の地方講演会について、県眼科医会から講師を推薦する予定。

[医療対策]

報告：1. 本年度栃木県CL販売管理者継続研修会(12月5日(日)とちぎ健康の森)の準備状況

現在応募者は93名。講師は栃木県保健福祉部薬務課の長谷先生と、小幡博人先生(自治医大)。

2. 日眼医より「加水分解コムギ末を含有する医薬部外品・化粧品の使用上の注意事項等について」送付（10月28日(木)）

加水分解コムギ末を含有する製品を使用したあとに、かゆみ等のアレルギー

ーが発症されるケースが複数の医療機関より報告があったことを受けて、平成22年10月15日厚生労働省の通達「加水分解コムギ末を含有する医薬部外品・化粧品の使用上の注意事項等について（薬食審査発1015第13号）」にて、外箱表示等で注意喚起を行うこととされた。

市販のシャンプー、リンス、美容液などに含まれているため、注意されたい。

協議：1．来年度CL販売管理者継続研修会開催の件

平成22年12月4日(日)に開催予定。

2．CL販売管理者再登録申請について

旭副会長より。制度開始から6年経ったため、来年4月に再申請の時期を迎える。そのため、県の薬務課が申請の確認に訪れる事があるので、継続研修の書類などを用意する他、CL販売の台帳等も落ち度のないようにしておくようお願いしたい。

3．ワンデーアキュビュートゥルーアイの自主回収について

旭副会長より。J&Jから、自主回収にさいして販売顧客リストを提出するよう求められた。これは個人情報保護法に抵触するのではないか。この件について今後J&J社と話し合いを行いたい。

[勤務医]

協議：1．第11回全国勤務医連絡協議会出席の件（11月21日(日)東京プリンスホテル）

上田理事が出席予定。講演のテーマは「専門医制度の今後について」、講師は日本専門医制評価・認定機構理事長の池田康夫先生。

2．第16回栃木県眼科手術談話会の日程について

平成23年5月27日(金)、演題募集も例年通り行う予定。

[日眼医連盟]

報告：1．「平成22年度第10回連盟委員会摘録」日眼医連盟より送付（10月19日(火)）

高野委員長、三宅最高顧問の挨拶に続き、吉田統彦衆議院議員の講演が行われた。協議としては平成21年度の事業報告、会計報告、会費の納入状況や徴収方法、支援議員について、などが行われた。

2．日本眼科医連盟のホームページ開設について

上記摘録なども <http://www.gankairenmei.jp/> に記載されている。ご覧

いただきたい。

3. 平成22年度 日本眼科医会連盟 連盟協議委員会出席報告（10月30日（土）
東京プリンスホテル）

宮下会長が出席。例年日眼医支部長会議のあとに行われていたが、今回から別に開催されるようになった。

1）委員長挨拶

高野繁委員長から、これまで眼科医会は、厚労省の担当課に出向き要望をお願いしていたが、今後は吉田議員を始めとする政権政党の担当議員、厚労省の大臣、などに直接お願いするようにしないといけない。今後眼科に特化した議員連盟を作り、厚生労働委員会などで質問して要望を実現していくようにしたい。中井治国家公安委員長に議連代表になってもらう事にした。また、今後連盟の活動情報を、ホームページなどを通じ会員に積極的に公開していく予定である。

2）最高顧問挨拶

三宅最高顧問から、現在政党が混乱しており、綱領や統一見解がないのが心配である。今後保守政党の再編があると思う。吉田議員も30代なのでこれからいろいろあると思うが、大きな議員になってもらいたい。次の選挙もしっかり支えてゆきたい。

3）講演：吉田統彦衆議院議員

眼鏡士問題について、現在厚労省としては眼鏡士側の聞いただけの段階だが、総理や大臣からの働きかけがあれば、別に対応しなければいけなくなるだろう。

医学部の定員については、本当に1.5倍の医師が必要なのか疑問で、現場では1.1～1.2倍が至当との意見が多い。

医療訴訟の問題では、「医療安全調査委員会設置法案大綱案」の中の有識者として、医療ジャーナリストや医療訴訟担当の弁護士などは排除すべきで、医療と直接関わらない有識者を入れるべきであろう。自治医大高久史磨先生のprofessional autonomy という概念即ち、医師グループによる第三者機関で検討していくと言う考えは素晴らしい。

産科医療の無過失補償制度について、考えはよいとしても民間の保険機関が扱っていて、会計が不明朗なのが問題。国の機関が扱うべき問題。

ワクチン行政については、無料で行うことで医療経済がかなり削減される。出来れば公費負担、無理なら保険収載か控除が受けられる制度を目指すべき。これからの眼科医療について、予防や早期治療によって、視覚障害者数を

減らすことが出来、患者のQOLの改善だけでなく、国として障害者の総合コストを縮減し、経済でも生産性に寄与することをアピールしてゆく。「眼科医療を考える議員連盟(仮称)」の立ち上げが決定した。

4) 協議

平成21年度会務報告

平成21年度会計報告

会計納入状況について

支援議員について

会費の徴収について

5) その他

来年度も支部長会議とは別に平成23年10月22日(土)に予定している。

4月の代議員会で公益法人の定款変更を決定するためには、倍以上の委任状が必要になる。委任状は2月20日以降に届くと思うので、各支部の先生方によりしくお伝え願いたい、との事。

[その他]

協議：1. 国保審査委員の選出について

旭副会長より。県医師会と宇都宮眼科医会から、眼科国保審査委員を現状の2名から3名に増やしてほしい、という依頼があった。以前から有識者枠として獨協と自治から1名ずつ審査委員が出ていたが、水流前教授が退職されてからは人員不足もあり後任が出ていない。教育的役割を考えた上でも、やはり自治医大から1名審査委員を推薦してほしいがいかがなものか？

協議の上、理事全員の賛同を得た。

次回理事会は1月19日(水)に開催する。

以上

(吉 沢 徹

記)